

令和元年台風第19号による被害対応について

1. 最新の被害状況（総務省消防庁1月10日10:00発表） *前回より更新なし

<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/taihuu19gou64.pdf>

2. 各地の情報共有会議（1月29日現在 開催一覧送付済み）

発災直後より、地元の団体を中心に各地で支援関係者による情報共有会議が開催され、各自の活動を通じた課題を共有し、それらの解決を図ってきていましたが、復旧・復興の状況にあわせて開催頻度等が変わってきています。地域によっては、今回の対応を踏まえて、今後の災害支援のネットワークについて検討を始めています。

3. 各被災地の状況・課題について

JVOADとして、各地にスタッフを派遣しながら、地元のネットワークとの連携や情報共有会議等から支援状況や課題を把握し、サポートしています。

宮城県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月17日より災害VC支援連絡会議が行われており、行政、社会福祉協議会、地元の中間支援組織、NPOなどが参加、現在県域の会議は実施されておらず、丸森町で町域の情報共有会議が行われている ・丸森町では、地域の区長の協力で在宅調査を行い、それらの情報を被災者台帳に追記し、関係団体が協力して継続的にケアしていく体制を整えていく予定 ・丸森町地域支え合いセンターの生活支援相談員が、今月末から仮設に入っていく予定、他にもケアマネ協会、社会福祉士のチームも仮設支援に入るので、連携して対応していく予定 ・技術系支援団体が、今後のリソースを増やすために、大工仕事、重機、チェーンソー等の技術系講習会を丸森町内で実施していく予定 ・年末年始に仮設に支援に入った支援団体から、被災者の声を社会福祉協議会、支援団体に共有、これらを今後の支援につなげていく ・体調不良や今後の再建に向けた不安の声が出ている <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床下・壁対応 ・在宅避難の把握
福島県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくしま連携復興センターの呼びかけで情報共有会議を開催 ・いわき市では「いわき市支援者情報共有会議」が毎週実施、2020年1月に郡山市で市域の情報共有会議が開催 ・いわき市内の避難所は1か所（22世帯48人） ・いわき市災害VCは週末での活動になっており、公費解体を決めた世帯からの

	<p>相談があるものの、それほど新規での依頼は上がっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回「こおりやま災害支援ネットワーク会議」が実施され、35名が参加 <p>郡山社会福祉協議会は、仮設団地入居の約100世帯の訪問を始めている</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床下・壁対応 ・在宅避難者の状況把握 ・応急処理に関連して、ボランティアが対応した場合の床、壁材を産業廃棄物として運搬・処分できるかが不明確 <p>現在、災害VC経由の活動では対応してもらっているが、災害VCが閉所した後について要確認</p>
栃木県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木県の呼びかけで10月16日に情報共有会議が開催され、行政、社会福祉協議会、地元の間支援組織等、地元団体を中心に開催 ・平時の災害ネットワークについても検討が始まっている ・床下・壁（カビ対応）の講習会を支援団体主催で実施している <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床下・壁対応 ・在宅避難者の状況把握
茨城県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県社会福祉協議会、茨城NPOセンター・コモンズ主催で、災害支援いばらきネットワーク会議（情報共有会議）を定期的に開催 ・茨城県社協主催で、台風19号の支援をふり返り、今後の災害に備えることを目的に、「災害時の支援活動報告会」を開催予定 <p>日時：2月21日（金）9：50～16：00</p> <p>場所：茨城県総合福祉会館（水戸市千波町1918）</p> <p>申込みは、茨城県社会福祉協議会に2月17日（月）までに連絡</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床下・壁対応 ・在宅避難者の状況把握
長野県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月14日から定期的に情報共有会議が開催、これまで週1回（毎週月曜日）に開催していたが、2月からは北部と南部に場所を移して開催する形で調整中 ・長野市内では、被害の大きな地区単位での支援者会議も行われ始めている ・被災地域での中学生向け学習支援が開始され、フードバンクや地元団体、企業の協力で食事の提供も実施 ・今後の復興支援の在り方を検討するために、先行事例ともなる熊本県を視察、仮設から公営住宅へ、という状況の変化の中で、それぞれのタイミングで直面する課題等のイメージを持つことができた ・台風19号での対応を踏まえて、「長野県災害時支援ネットワーク」の今後の体制

	<p>や役割分担について協議を始めている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンターの閉所が予定されている地域もあるが、その後に地域から上がってくるニーズを受ける窓口の検討を関係者で行っている ・県政タウンミーティングが実施され、住民、行政、長野災害時支援ネットワーク等も参画し、新しく立ち上がった「ONE NAGANO 復興協働会議」につなげていく動きが出ている <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床下・壁対応 ・在宅避難者の状況把握（支援員がいない地域など）
その他の地域	<p>東京都：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県いわき市でのボランティア活動は1月末までを予定、現在、地元のお寺と連携し、コミュニティ支援（サロン開催）を実施、継続の声があるため、地元の支援関係者と相談しながら、2月以降の対応について検討中 <p>埼玉県：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月31日（金）・2月1日（土）に、「第7回協働型災害訓練 in 杉戸」を開催、1日目（1/31）に台風19号に関する埼玉県情報共有会議のまとめを実施予定 <p>千葉県：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根の本格修理が終了するまで、長期にわたってブルーシートでの応急対応、張り直しが必要になる ・千葉県と連携しながら、千葉県社協、千葉南部災害支援センター、技術系支援団体等の協力のもと、地元の担い手を増やす取り組みを調整中（JVOAD） ・課題として、雨漏りによるカビなどが発生

4. 災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターに関する情報については、全国社会福祉協議会のホームページにて確認ください。現在開設されているセンターは、全て事前登録が必要となっているので、活動希望の際は各地域のHPにてご確認ください。

URL: <https://www.saigaivc.com/typhoon201919/>

5. 今後のJVOADの対応について

引き続き、JVOADスタッフならびに応援スタッフが、長野県には常駐、その他地域については出張ベースで、関係団体と連携し、各地の情報共有会議等であがった課題について共有しながら、解決に向けたコーディネートを行っています。復興の状況は各地で異なり、地域支え合いセンターが動き始めた地域もありますが、在宅避難している方の状況や仮設に入った方へのこれからの支援など、地元の団体を中心に、関係団体、関係機関と連携しながら引き続き、サポートしてまいります。

以上